



A_LDKからは大開口を介して東側の眺望が開けている。中庭と駐車場の間に設けた塀が、視界を損なわずに家族のプライバシーを守っている。 B_外壁は白い塗り壁が基調だが、廊下の壁だけスギ板張りにした。縁側や軒天とともに外観のアクセントとして、建物にやわらかな表情を添えている。 C_サッシはトリプルガラス。これほどの大開口でも断熱等級7を大きく上回る断熱性能のおかげで、1台の床下エアコンだけで、冬も快適に過ごせる。 D_白を基調とした外観も、緩やかな傾斜の屋根も、松本平のおおらかな田園風景に溶け込んでいる。ふるさとへの思いやりを感じる平屋だ。



田園風景に包まれて暮らすよろこび

カッコよくて、ちゃんと暖かい。
選んだのは、
洗練された木の家でした

松本平らしいおおらかな田園風景の中にその平屋はありました。東には美ヶ原や車山、北に目を転じれば北アルプス、そして南に八ヶ岳が望めます。周辺には今も田畑が多く残され、高い建物は見当たりません。ゆったりとした気分で四方の景色を楽しめるのは、信州でもとりわけこの盆地に暮らす人の特権かもしれません。

ともに長野県出身のご夫妻は、娘さんが1歳になったのをきっかけに、東京での暮らしを終え地元に戻ろうと決めました。そして、もともとご主人のおじいさまが耕していた農地だったこの土地に、家を建てることにしたのです。

「木のぬくもりが感じられる家がいい」。そう考えて最初に訪ねた大手住宅会社の展示場は、確かに木材をふんだんに使っているものの、断熱性などの性能には満足できませんでした。信州の冬を知る二人には、心もとないと感じられたのです。その後、アーキエアーズでなら、同じ予

算でより良い家ができること知り、長野市のモデルハウスを見学。「カッコよくて、ちゃんと暖かい。木の使い方も洗練されていました」と依頼を決めました。家づくりの過程も楽しかったと振り返ります。「私たちの想いをよく汲んでくれ、最初の提案ではほぼ完成形に近いプランが出てきたのには驚きました。土地の用途変更でも力になってくれました」



上空から見るとT邸は「コ」の字型をしています。ただし、LDKと向き合う一边は駐車場のため、LDKのどこからでも、あるいはデッキに腰掛けても、東

風景を抱く、「コ」の字の平屋。中庭とつながる、やさしい暮らし

側の風景を存分に楽しめます。LDKの大開口はもとより、緩やかな傾斜の板張り天井とそれに連なる軒天、駐車場横に設けた視界を遮りすぎない塀が、プライバシーを守りながら、のびやかな開放感を生み出しています。「コ」の字に囲まれた部分は中庭。その中庭に面した廊下は、アイキエアーズのモデルハウスの間取りを参考にしました。南側の眺望が開け、日当たりもいい、思わずほっこりする空間です。白壁を基調とした外観の中で、こだけスギ板張りとし、アクセントを添えました。リビングのテレビを掛けた壁の裏側には、これもモデルハウスをお手本としたヌックがあります。子どもの学習や書斎として使えるほか、収納も兼ねているので、LDKが自然と片付いてしまうのだとか。

北アルプスを望むのは子供部屋。ご主人にとっても、かつて親しんだ懐かしい眺めです。もう1つ、Tさんの思い出の風景が、家の隣に今も残る実家の畑。トマトをいいで食べた記憶は、昨夏、娘さんにも受け継がれたようです。一家はこの家でこれからも、田園風景に包まれながら、喜びを分かち合っていくでしょう。



E_木肌の美しい床は、「ジャパニーズオーク」として評価の高いミズナラの無垢材を使用。キッチン、素材や天井の高さを変えることで、リビングダイニングとは異なる表情をもたせました。 F_LDKは開口からの奥行きをたっぷり取った贅沢な空間。軒天まで連続性をもたせた天井の素材には、木目が緻密なアガチスを採用。窓際の間接照明がじんわりと光を及ぼして、夜はことに美しい。 G_キッチンに立つと外の風景はもちろん、玄関、廊下が見渡せ、リビングの向こうの子供部屋の気配まで伝わってくるそう。 H・I_コンパクトながら眺めがよくて開放的なダイニング。それと対面するキッチンは広々として使いやすい。奥様が立つ壁の奥に冷蔵庫と冷凍庫を置くスペースを設けた。建坪の限られた平屋でも屋内がスッキリ見える工夫。





N_家づくりの打ち合わせはリモートが主だったが、最初に提案されたプランがほぼ現在のかたちになったという。 O_娘さんが1歳になったのを機に東京から長野県への移住を決めた一家。この家ができてからは生活のクオリティが上がり、外出せずに家で過ごす時間が長くなったそう。

DATA

敷地面積 — 300.00㎡ (90.57坪)

延床面積 — 104.75㎡ (31.62坪)

1F面積 — 104.75㎡ (31.62坪)

デッキ面積 — 10.19㎡ (3.08坪)

工法／木造在来軸組工法 基礎／ベタ基礎 構造材／柱：3.5寸角・4寸角スギ、土台：3.5寸角ヒノキ 断熱材／天井：硬質ウレタンフォーム300mm、壁：高性能グラスウール105mm・付加断熱ネオマフォーム90mm、基礎：押出法ポリスチレンフォーム100mm 主な外装仕上げ／屋根：ガルバリウム銅板、外壁：塗り壁・県産スギ 主な内装仕上げ／天井：クロス・アガチス羽目板、壁：クロス、床：ミズナラ・県産スギ 開口部／トリプルガラス キッチン／永大 ラフィーナネオ キッチン熱源／ガスコンロ パスルーム／タカスタンダード リラクシア 暖房の種類／床下エアコン C値／0.30 UA値／0.19

PLAN

Comment

Owner: Tさんご家族

Q1_家づくりで一番大切にしたいことは？

A 木のぬくもりにあふれ、断熱性など住宅性能も高いこと。家族の顔や声、気配がいつもそばにあること。

Q2_こうしておいてよかった、と思ったことは？

A LDKの東に面した窓を大開口にしたこと。廊下から南側の景色が楽しめること。

Q3_このビルダーさんに頼んでよかったことは？

A カッコよくて機能的。提案力の高さ。土地の用途変更などの手厚いサポート。

Builder: コンシェルジュ／今井 雄介さん

Q1_この家のコンセプト、ポイントは？

A 松本平の田園風景の中で豊かな時間を過ごす。

Q2_この家の見どころを3つに絞るなら。

A 開放感とプライバシーを両立する建物形状。眺めの良い廊下からLDKへ至る空間設計。水周りとファミリークローゼットをつなぐ動線。

Q3_家づくりで一番大切にしていることは？

A ご家族様にとって、永く愛せるマイホームを実現すること。

J_キッチンの壁の飾り棚。お酒好きの夫妻のコレクションやお気に入りの小物が映え、インテリアとして成立している。 K_玄関から続く廊下。洗面室の右手には洗濯脱衣室があり、そこから直接ファミリークローゼットへ行ける。 L_玄関からLDKへのアプローチの役目を果たす廊下は、日当たりも眺めもいいので、つい立ち止まりたくなる。こんな小さな「間」が、暮らしに潤いをもたらしてくれる。 M_リビングの背後に設けたヌック。壁の色をLDKより濃くして落ち着いた雰囲気に仕上げた。子どもが勉強したり、大人が書斎として使うときも、集中できそうな空間。